

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医用工学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員	岡本 覚	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生体の構造と機能と特性および生体の物理・化学特性と特異性を中心に医学と工学の橋渡しを体系的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題, 小テスト, 期末試験, 出席状況等を総合的に加味して評価する。総合成績(100満点)で60点以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント, 参考図書:臨床工学講座「生体物性・医用材料工学」, 中島章夫・氏平政伸著, 医歯薬出版(株)						
《授業外における学習方法》						
適宜, レポートの課題を課すので, 期限までに提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床工学技士は医療職として他の職種とは異なり, 多くの最新の医療機器を取り扱いながら, 医師とともに治療に携わらなければならない。医療機器や治療法は医療の周辺の工学技術の発展に大きく左右される事になる。1年生で学んだ電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをする事を目標とする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをすること, 特に臨床工学における医用工学の役割を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
		各コマにおける授業予定	医用工学の概要: 臨床工学における医用工学の役割			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをすること, 特に生体計測の役割を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
		各コマにおける授業予定	医用工学の概要: 生体計測			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをすること, 特に将来展望について理解を深めることを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
		各コマにおける授業予定	医用工学の概要: 将来展望			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをすること, 特に生体の電気的性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
		各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の電気的性質			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学, 物理学, 電磁気学, 電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り, 医学と工学の橋渡しをすること, 特に生体の機械的性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
		各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の機械的性質			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体の超音波に対する性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の超音波に対する性質			
第7回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体の熱に対する性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の熱に対する性質			
第8回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体の光に対する性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の光に対する性質			
第9回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体の放射線に対する性質を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体物性の基礎: 生体の放射線に対する性質			
第10回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体情報の収集(センサ・トランスデューサの原理と構造)について理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体情報の収集: センサ・トランスデューサの原理と構造 I			
第11回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に生体情報の収集方法(センサ・トランスデューサの原理と構造)を修得することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	生体情報の収集: センサ・トランスデューサの原理と構造 II			
第12回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に医療に使われている機器・技術(ローラーポンプと遠心ポンプ)を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	医療に使われている機器・技術: ローラーポンプと遠心ポンプ			
第13回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に医療に使われている機器・技術(X線CT)を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	医療に使われている機器・技術: X線CT			
第14回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に医療に使われている機器・技術(MRI)を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	医療に使われている機器・技術: MRI			
第15回	授業を通じての到達目標	電気工学、物理学、電磁気学、電子工学等の基礎工学系の科目内容や考え方が医療や医療機器にどのように応用されているかを知り、医学と工学の橋渡しをすること、特に福祉に利用されている機器を理解することを目標とする。	プリント	課題に対するレポートを提出させる。	
	各コマにおける授業予定	福祉に利用されている機器			